

2020年06月12日

脳神経外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「脳動脈瘤治療に関する後ろ向き観察研究」 への協力をお願い

脳神経外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004年6月～2019年10月に当科において、脳動脈瘤に対する開頭手術や脳血管内治療（カテーテル治療）を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2022年12月31日

研究目的・方法：

上記研究対象期間内に行った脳動脈瘤治療の中・長期成績を解析し、今後のよりよい動脈瘤治療へつなげます。日常診療で実施された検査値、画像データなどの情報を診療録（電子カルテ）から収集し、匿名化措置を行ったうえで統計解析を行います。

研究に用いる試料・情報の種類：

電子カルテより以下の情報を取得します。

- 患者背景（性別、治療時の年齢）
- 一般身体所見（血圧、身長、体重、BMI）
- 動脈瘤の発症様式（無症候性、症候性：脳動脈瘤破裂、局所神経症状）、動脈瘤の局在、サイズ、母血管の径
- 動脈瘤治療の周術期成績、行った治療法、使用したデバイスの種類、動脈瘤治療直後の閉塞度、周術期合併症、治療から30日後の神経学的転帰
- 中長期成績（局所神経症状が改善するのにかかった年月、治療から1年後の神経学的転帰、動脈瘤治療後の長期的な閉塞度(Raymond class)、動脈瘤の再増大の有無、それまでの経過年数、動脈瘤の再治療の有無、その追加治療方法

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先（研究責任者）

岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科

電話番号 058 - 230 - 6271

氏名：榎本由貴子